僕が隣のお母さんとこんなことになっちゃう話 3



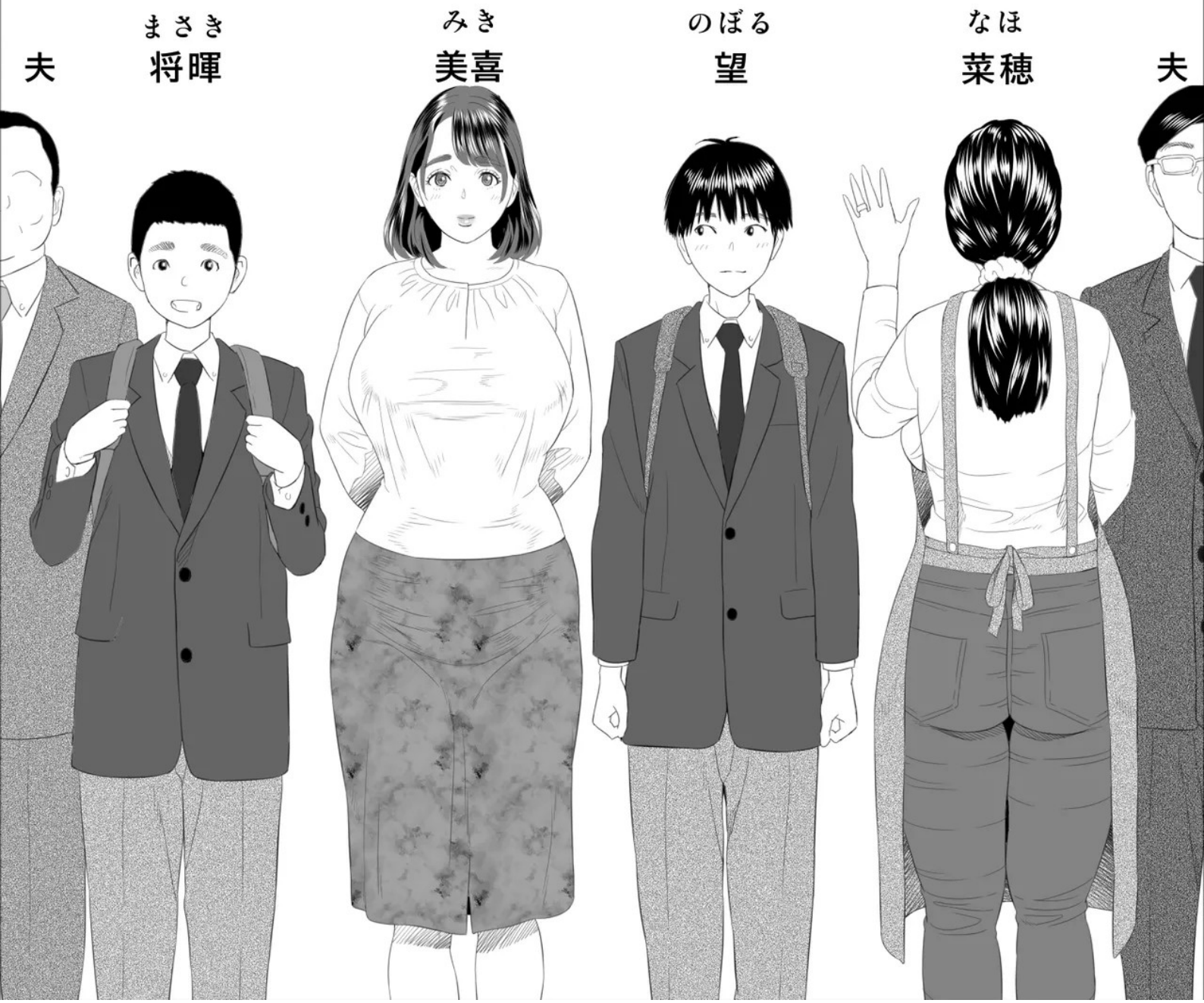
近女誘惑

灰司

前回までのあらすじ

とあるマンションのお隣同士さんだった
〈仲谷家〉と〈加山家〉
ある日〈加山望〉は隣のお母さん〈仲谷美喜〉が
旦那さんの出張中に家に男を連れ込んで
浮気してる所を目撃する
それをネタにして以前から好きだった
隣のお母さんに肉体関係を迫った。
遂に憧れの人と初体験をした〈望〉だったが
〈美喜〉から浮気は勘違いだったと知らされる。
ただのお隣さんだった関係は
若い〈雄〉と熟れた〈雌〉になった。
家族の目を盗んで肉体関係に溺れる２人の肉欲は
エスカレートしてく、、、

仲谷家　　加山家




毎朝美喜さんと
Hはしたいけど
毎回忘れ物をして
戻るのは不自然で
マサ君に怪しまれ
ちゃうから
一生懸命考えた
結果、、、
タッ
タッ
タッ
タッ
キョロ
キョロ


美喜さんは朝ご飯を作ってからランニングしてくると言って家を出て
近くのこの公衆トイレに来てマサくんが学校行く準備をしている短い間だけ
僕とセックスするんだ！
ギュウウ
フッ
フッ
フッ
チュッ


こんな公衆の場で朝から隠れてセックスするなんてって最初美喜さんは言ってたけど
ピチャ
チュル
チュッ
試しにしてみたらすごい興奮してすっかり気に入ったみたい
はあ
はあ
ボロン
ムニュ
スポーティな格好の美喜さんもエッチで興奮する！


ドッドッドッ
ドクドク
ドオオ
美喜さんは音を立てないようにフェラチオをする
ビクッ
ビクン
音がでないからって気持ちよくないわけじゃないむしろ


そのぶん吸い付きと
中での舌の動き方が
凄いことになってる
はあ
はあ
はあ
はあ
ハア
ハア


そして美喜さんがこのために魔改造したレギンス
はみ
はっ
はみ
脱がなくても入れられるようにそこだけカットされてるのをわざわざ作るなんて！
ふーー
やっぱり隣のお母さんはエロいことに貪欲だ！


ここに来るまでにすっかり出来上がっちゃってたんだ！
愛撫もしてないのにアソコの中は熱くてトロットロだ！
すごい汗だくっパイ
言わなくても吸ってほしいのが伝わって来る！


ビクン
チュル
チュバ
チュル
ビクン
ジュルッ
チュウ
ヴヴ
チュル
ヴヴ
ヴヴ
夢中でちんこ貪ってる！
グリイッ
グン
すっごい腰の振り方
ヴヴ
ヴヴ


美喜さんが
はっ
はあ
ハッ
ハッ
はあ
はっ
はあ
はあ
はあ
はみ
はあ
ハッ
ハッ
ハッ


ビッ
ズブ
ズブブ
ビッ
グッ
ぬちゅ
ズブ
ブチュ
ハァ
はぁ
ブチュ
ハァ
ブチュ
はぁ
ブチュ
ズブ
ズブ
ズブ
ブチュ
ブチュ
ズブ


ボン
はっ
はぁ
はぁ
ズブ
ズブ
ズブ


カチャ…
ビヴヴ
ドクドクドク
ジョボボボ
ジョボボボ
ビキ
ドクドクドク
!!
ここは止めるのを
進める立場でしょう！
大人げないよ美喜さんw


そういう美喜さん最高！
でも音立ててお尻パンパンは出来ないけど気持ちよくするためには、、
密着して奥までグリグリだ！


美喜さんも分かって
腰をグリグリ
擦り付けてくる！
奥の方にグリグリ
するのも凄い良い！
膣がからまって
ギュウギュウに
まとわりついてくる！

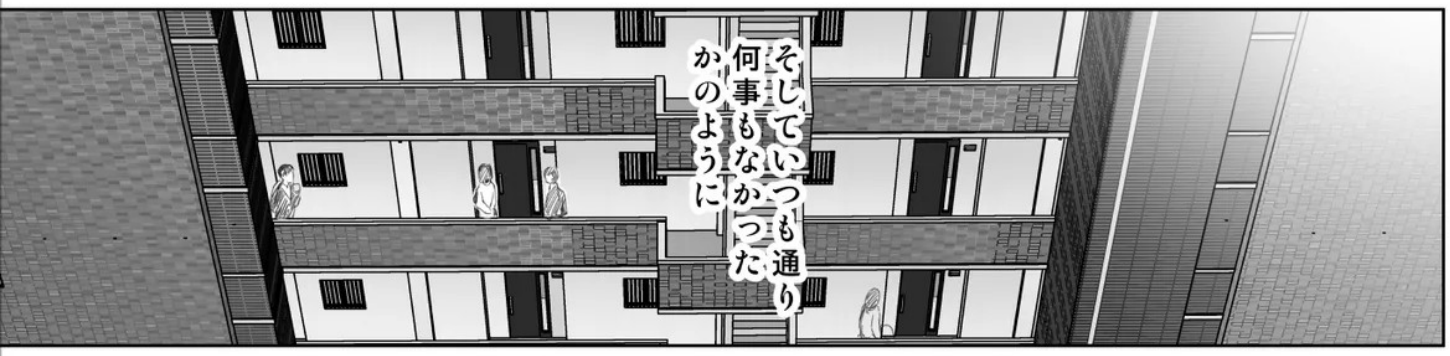

いきそう！
うん！
じゃラストスパート！
はあ
うんうん！
またアレで出すね！




ビュー
ビュー
ビュー
ビュー
ビュー
ビュー
ビュー
ビュー
トイレで立ちションみたいな格好でチンポから出る精子を女の人の口に出しちゃうなんて
すごいイケナイ事してる感じ！

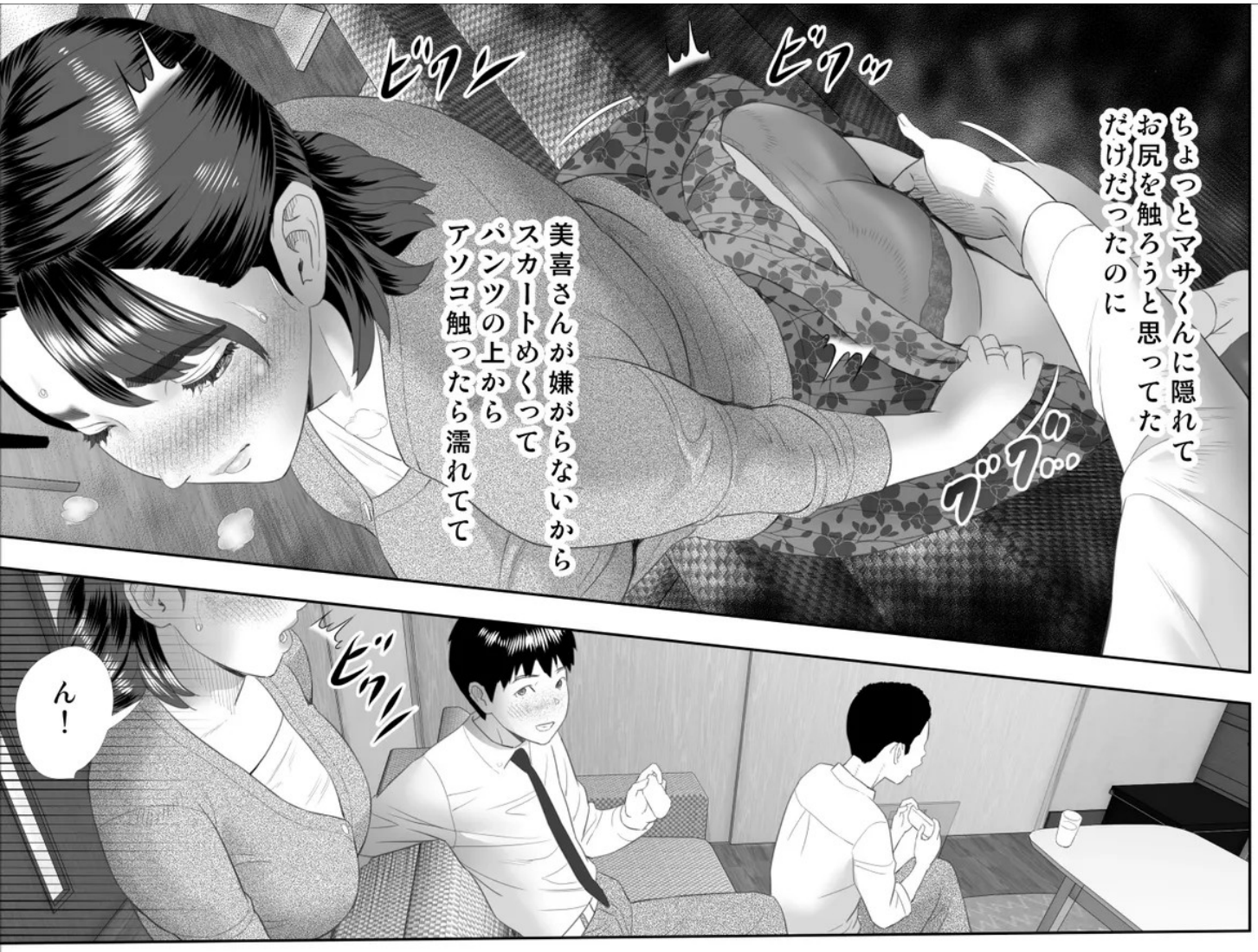

それなのに、、
トプッ
トゥ…
トプ…
ビュ…
はい！
トクン
なんで美喜さんは
ちょっと嬉しそうなんだろ
ドクロ…
ビクン
チュウウ
ビクン




そしていつも通り
何事もなかったかのように


おはようございます
マサくんのお母さん！
ダッ
おはよう望君！
じゃいこっか！


刺激的なことはエスカレートしていく
マサくんが家にいる時でも
ドクン
ドキ
ドッ
ドク


ちょっとマサくんに隠れて
お尻を触ろうと思ってた
だけだったのに
美喜さんが嫌がらないから
スカートめくって
パンツの上から
アソコ触ったら濡れてて
ビクン
ビクッ
ビクン
ん！


ほら中まで
トロットロの
あっつあつだよ
美喜さん足閉じる所か
だんだん開いて
腰が動いてるw
ビクン
ビクッ
ビクン
ビクッ
ビクン


マサくん僕トイレ行ってくるからその間お母さんにやってもらうよ
えー、うんわかった早くね！
それじゃあお母さんお願いします
え？あはい、、
お母さんはAボタンだけ押してればいいから
そ、そうなの、、
と見せかけてーw
ヒクン
シュルル…


ドッドッドッ
ドクッ
ドクッ
フゥ
フゥ
もうバッキバキだよ
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン


そうこなくっちゃ！
ん？お母さんなんでしゃがんでるの？
ドキリ
え!?あの　その！
ちょっと立ってるのがね、、
このほうが楽なのよ！そう！らく！
ブル！
あ、そう

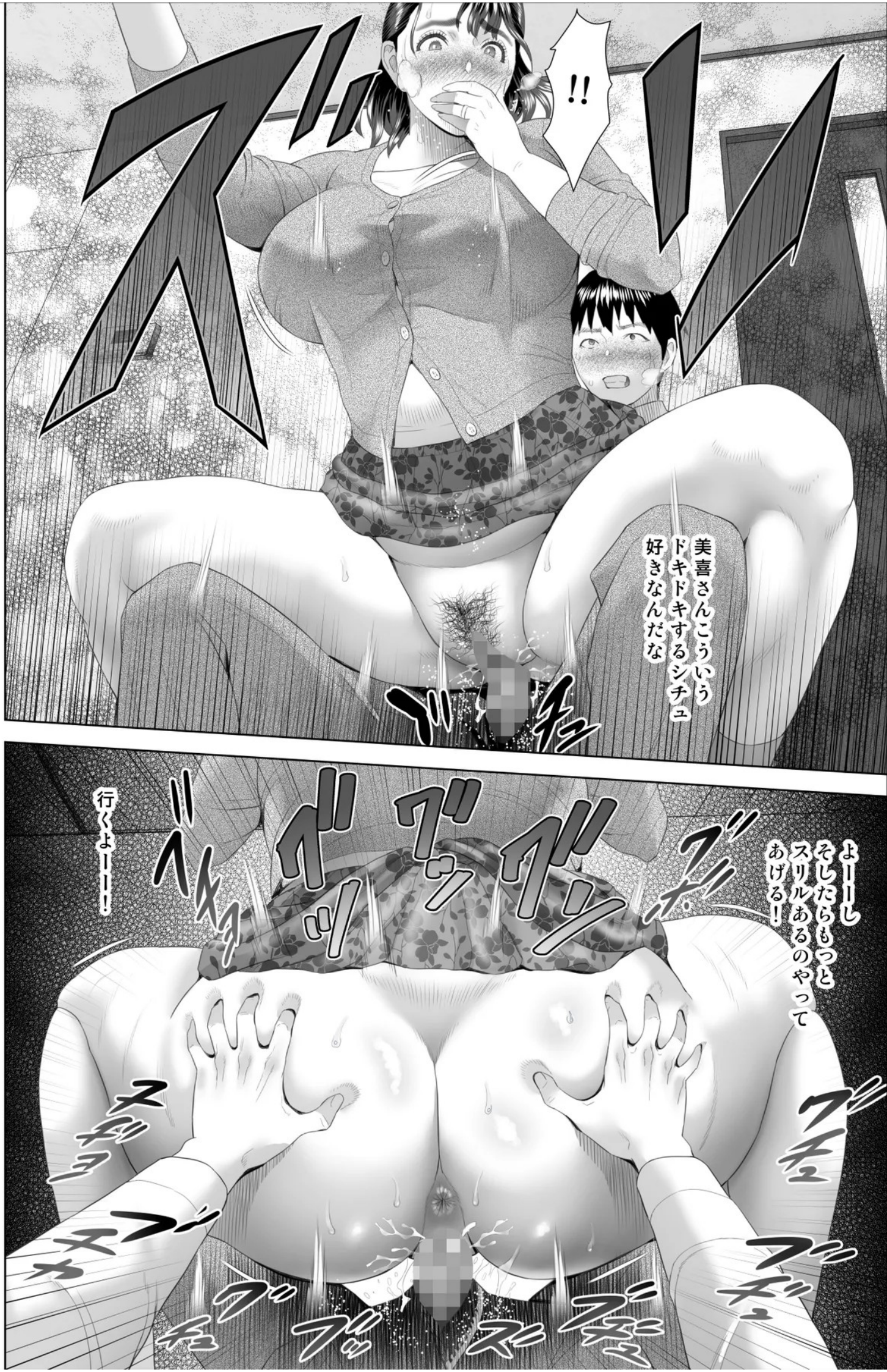

この体位ヤバい！
美喜さんのおつきいお尻と
アソコに入ってるのがよく見えて最高だし
腰が止まんないよ！
マサくんがいると思うとこんな危ないことしてるのに！


ビクッ
ズッ
ズズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ヘト
ヘト
ふー
ふー
ふー
グッ
ヒュ


ビヴヴ
うわ！めっちゃ大股開きでそんな大胆に
はっ
はっ
はっ
それに気持ち良さそう～

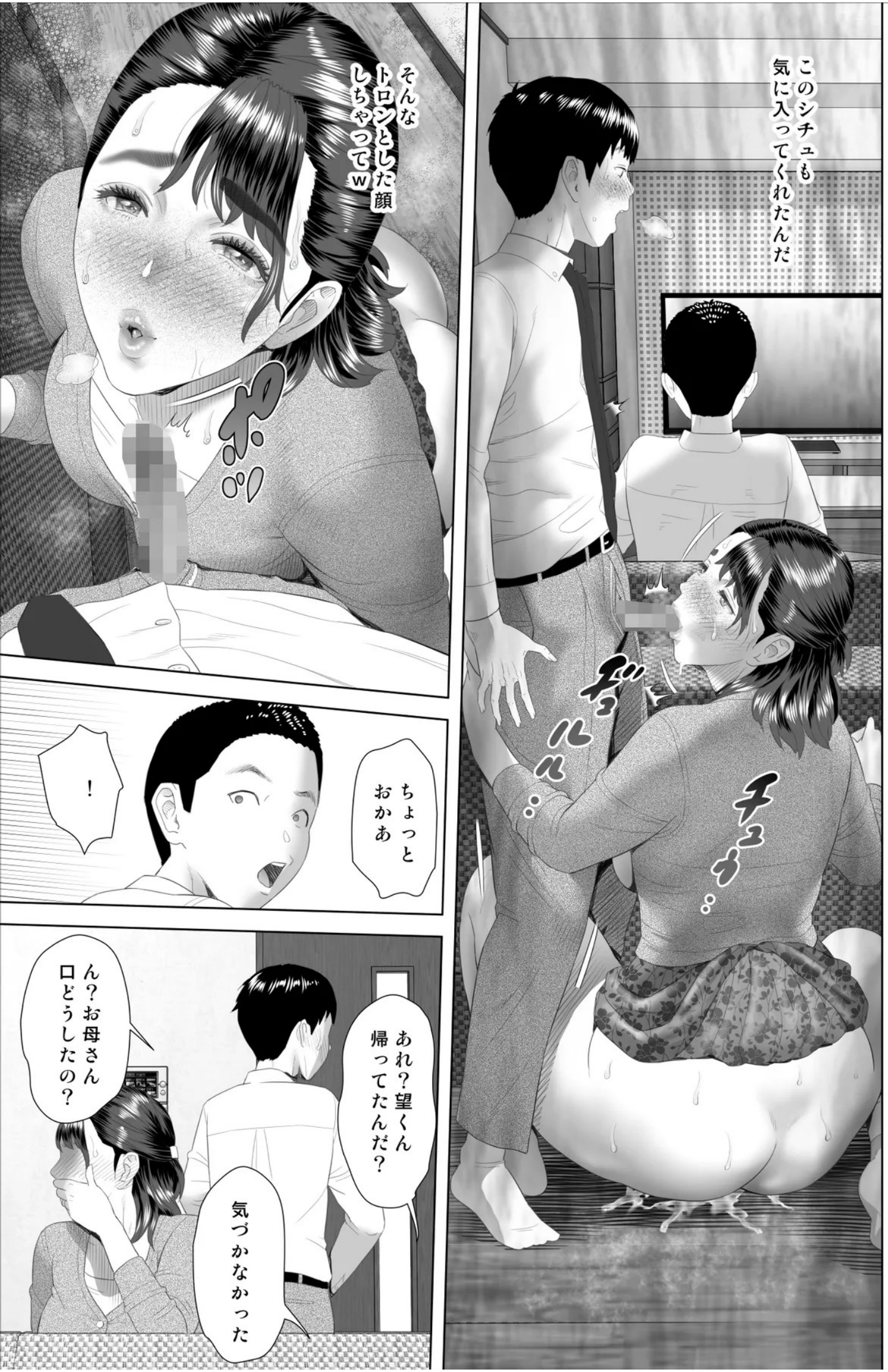

カチャ
カチャ
凄いな美喜さん
体の上は全然
動いてないのに
カチャ
カチャ
カチャ
カチャ
腰めっちゃ振ってる！
はぁ
はっ
はぁ
グリン
グリン
ヌチ
ヌブ
ヌッ
グチュ
ヌブ
ヌブッ
ヌブッ
グチュ
グチュ
はっ
はっ
グイン
グイン
グイン
グチュ
グチュ
ヌブッ
ヌブッ
グチュ
グチュ
ヌブッ
ヌブッ


カタカタ
カタカタ
カタカタ
カタカタ
カタ
グッ
チュッ
チュパ
グー
はあ
はあ
はあ
あーヤバい
そろそろ…
ブル…
コク…
コク…
ハッ
ビクッ
グイ
グイ
グイ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ


!!
美喜さんこういう
ドキドキするシチュ
好きなんだな
よーーし
そしたらもっと
スリルあるのやって
あげる！
行くよーーー！


ビクッ
!!!
ビュッ
ビュルル
ビュッ
ビュルルル
ビュッ
ビュッ
ドクッ
ぅぅぅ…ぅ!!


どう？息子の後ろで口に精子出されてるの？
マサくん振り向いたらお母さんが友達にちんぽ咥えさせられてるのバレちゃうよ？
ほらもっと見えるようにこっち向いて
わ！美喜さんこんなことされてちょっとイッちゃってる！


このシチュも気に入ってくれたんだ
チュッ…
ジュルル…
そんなトロンとした顔しちゃってw
ポ…
ちょっとおかあ
！
あれ？望くん帰ってたんだ？
気づかなかった
ん？お母さん口どうしたの？


あー出してスッキリしたぁ
あれ？お母さんどうしたんですか？
！
、、、
？
プー
息子の前で精子飲んだ～！
ごっくん
たいしたことないのよ♡
美喜さんすつげー
なんでもないわ、、
はあ…


そして日曜日


やった！
ついにだ！


遊びに行ってくる！
お昼はいらないからー
はい
気をつけてね


美喜さん！
ガチャ


いらっしゃい♡
すごい
その格好！
早く
入って♡


夫婦の寝室でセックスしちゃうなんて望君　その年で立派な間男ね
美喜さんがここでしたいって言うから
うん♡ここで思う存分したかったのぉ
約束通り今日は私の中にぜーんぶ精子出していいわよ♡
あの子も夕方まで帰って来ないから望君のが空っぽになるまで注ぎ込んでね♡
ドサッ
はぁ♥
くぱぁ♥


すごい美喜さんのもう濡れぬれだ！
あっん♡こんなエッチな下着着けてるだけで興奮してきちゃって
おっぱい丸出しだしアソコの部分が開いちゃうなんてエッチするための下着ってすごい！
こんな格好したの初めてよ気に入ってくれた？
うん！最高！もうバッキバキだよ！


ホントにすっごい起ち方♡
ふふ♡
あぁ気持ちいいこんなに落ち着いてフェラしてもらうの初めてw
美喜さんも遠慮なく音立ててしゃぶれるねw
うあ！すごい！ダメだよ出ちゃうw
ジュブ
ジュブ
ジュボ
ジュボ
ジュボ


ベッドで美喜さんとセックスしてるなんて！ホントのカップルみたいだ！
あん♡嬉しいっ
美喜さん！今日だけは僕の彼女になってよ！
あっん　いいわぁ！今日だけ望君の女になってあげる♡好きにしてぇえ！
美喜さん！


クリいじりながら上の方突くと気持ち良いんでしょ？どう？
あぁそれだめぇ！
あ！締まる汁もいっぱい出てきた！
だめだめイッちゃう！
やった！イッて美喜さんイッてよ！
あっいく！いくあぁああっ！
プシャァァ
出てるでてる！潮でてるよ！
プシャ
パシャ


これやってみたかったんだ！ベッドじゃないと出来ないから！
あぁ！すごい奥まで刺さっちゃう♡気持ちいい！
はっはぁ！おまんこに出し入れしてる音すごい聞こえる！
あぁあ！こんなにベッド軋んでるの初めてよぉ♡


美喜さん！もう出そう！ホントに膣出しして良いんだよね？
いいわよ生でおまんこの奥に射精して！
ずっと待ってたよ美喜さんに膣出しするの！
私もぉ！膣に出して欲しかったっ
出すよイク！うぁああ！イクイクぅ！
あぁあ望くんっ！


ビクン
ギュッ
ビュビュビュ


んふ♡
まだ全然硬ぁい♡
おまんこから
精子垂れてくるの
エッチすぎだよ
今度は私が
搾り取っちゃう
からね♡
うあ！すごい
そんなエッチな格好で
僕にまたがって腰降ってるの
いやらしすぎ！
そうよぉ望君の彼女は
こんなにいやらしい女
なんだからっ
覚悟してね♡
大丈夫
しっかり溜めて
きたからw
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ


うわぁ下着の
間から繋がってるとこ
丸見えだ
あっまた
クリだめぇ！
中でビクビク
いってる
腰止めないで
あぁだめぇ
いっちゃう出ちゃうぅ！
すごいすごい
潮でてるのバッチリ
見える！
あぁあ！
いやぁあっ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
プシャ
プシャ
パシャ
パシャ


すごい！美喜さんに
犯されてるみたい
だよ！
私ばっかり
イカせてぇ
次は望君が
イク番よっ
うん！もう出そう！
このまま膣に出すよ！
きてぇ！私がイカせて
あげるから
奥にいっぱい望君の精子
ビュルビュル出してぇ♡
あ！あ！イク！
でるぅぅ！！
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ


うあぁあ！すごい！膣で搾り取られるみたいしまるぅ！
あぁいっぱい出てるの膣で感じるぅきもちいいい！
美喜さんが中で締め付けるのやばいよw
中で出されると体が精子を求めちゃうのね♡
2回めも濃いのがたっぷり出たね♡
ビクン
ドクン
ドピュ
ドピュ
ドピュ
ドピュ
ヒク
はあ
はあ
ドク
ハア…
ハア…


今度は僕の番！
やっぱり美喜さんの
お尻最高だよ！
望君ホントに
後ろからするの
好きなのね
疲れない？
全然！
止められない
位だよ！
いいわぁ私のお尻
好きなだけいじめてっ！
激しく打ち付けてぇ♡
おっきいお尻が
突くたびに
弾んでるの見ると
もっともっと
激しくしたくなる！
美喜さん！


これこれ！
うつ伏せにするのも
やってみたかった
んだ！
あぁ！
きもちいい！
なんだか
寝てるとこを
襲ってるみたいで
興奮する！
うん♡
覆いかぶさられて
自由に動けないの！
これすきぃ♡
ぴったりくっついて
奥にグリグリするのも
気持ちいいね
あぁあ
それも好きぃ
もっとぉお♡


あぁこんな
犯されるみたいに
激しいのおすきっ
だいすきぃ♡
もっとついてぇ！
たまんないよ
美喜さん！
もう出る！
出してぇ
このままケダモノの
交尾みたいに
おもいっきり射精
してぇえ！
あぁあ出るでるぅ！！
すごっいっちゃう！
わたしもいくっいく♡
あぁああ！！


くぅう！
あぁあ！
すっごい奥にぃ！
届いちゃう
子宮にドクドクぅ！
うっわすご！
えっろ！
だらしないお尻から
精子垂れてくるの
エロすぎだよ
また勃起してきちゃった
大丈夫？美喜さん？


あ、そうだ良いこと思いついた！
え？なに？
どうせ誰も居ないんだからもっと楽しもうよ
ええ？どういうこと？


こういうことだよ！
え？ちょっと
ほら行こう！家中でエッチしよう！
ええ？


いつも普通に生活してるところでセックスしてるの興奮するでしょ？
あぁこんなのぉ
ほら歩いて歩いて
あっあんそんな突かれながら歩くのなんてぇ
パン
パン
パン


いつも学校行く前に
マサくんと一緒に開ける
玄関の前でバックから
突かれてるの興奮するでしょ
あっあっ
そんなあの子のこと
思い出しちゃうの
だめぇ！
そんな喘いだら外に
声聞こえちゃうよ？
望くんが激しく
するからぁ！


家族と食事の時
いつも座ってる椅子の
上で男にまたがって
腰振っちゃる。
エッチだな～美喜さん♡
もう望くんのせいで
興奮しちゃうの
こんなセックス初めてぇ
さっきからすごい
締まってるもんね
望くんの全然萎えない
すっごいよぉ


キッチンでするのも
興奮する！
美喜さんが一番主婦してる
魔書でこんなにスケベに
なってるんだもん！
そんなふうに言われると
すっごい悪いことしちゃって
てるの感じちゃうっ
うあぁすっごい締まって
もう出る！でちゃう！
出してっここで
イケナイ主婦のおまんこに
精子注いでぇえ！


うあぁ！
あぁあ！すごっ！
きてぇ！もっともっとおお！
ビクビク
ギュウウ♥
ドクン
ドクッ


あぁあ、このまま抜けちゃうまで味わってたい、、
いいわよぉ、精子でいっぱいのおまんこ気持ちいい
そのあとご飯にしましょう♡
はぁ
はー
ハッ
ハァ
ヌプッ
そっ♥
はっ


食事をして
ちょっと昼寝をして
シャワーで体洗って
一緒に体拭いたり
した後、


裸で汗だくで
ハメまくった、、、


そんな日々は
唐突に終わった


えぇ!?
マサくんに
見つかっちゃったの？
しー！
しー!!!
声がっ

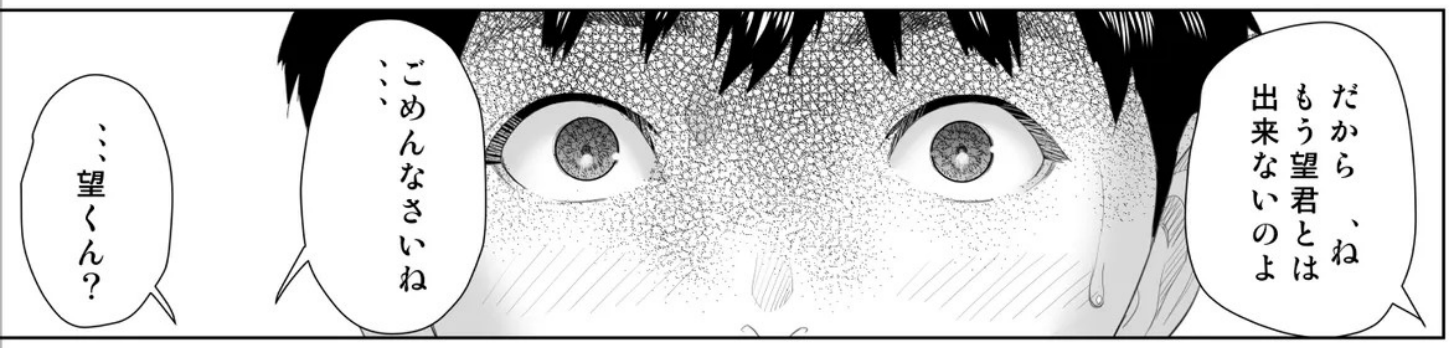

あの子と
しちゃったの、、


そうなの
昨日トイレでしてたの
覗いてたみたいで、、
それでね、
詰め寄られて、、
その、、




、、、えぇ？
そしたらねあの子
「もう望君とはしちゃ
だめだ」
って言うのよ、、
そうしないと父親に
バラすって、、、
そんな、、、


それに意外とね、、
あの子　うまいのよ
なんだか恥ずかしいけど
親子で躰の相性でも
いいのかしら、、


だから　、ね
もう望君とは
出来ないのよ
ごめんなさいね
、、、
、、望くん？


え？あ、うん！
このこと内緒にして
くれるわよね？
う、、うん
勿論！
よかった、、
それじゃあ、、



あのマサくんが、、
お母さんの美喜さんと、、
拾の母親と？、、、
そんなのアリ？？

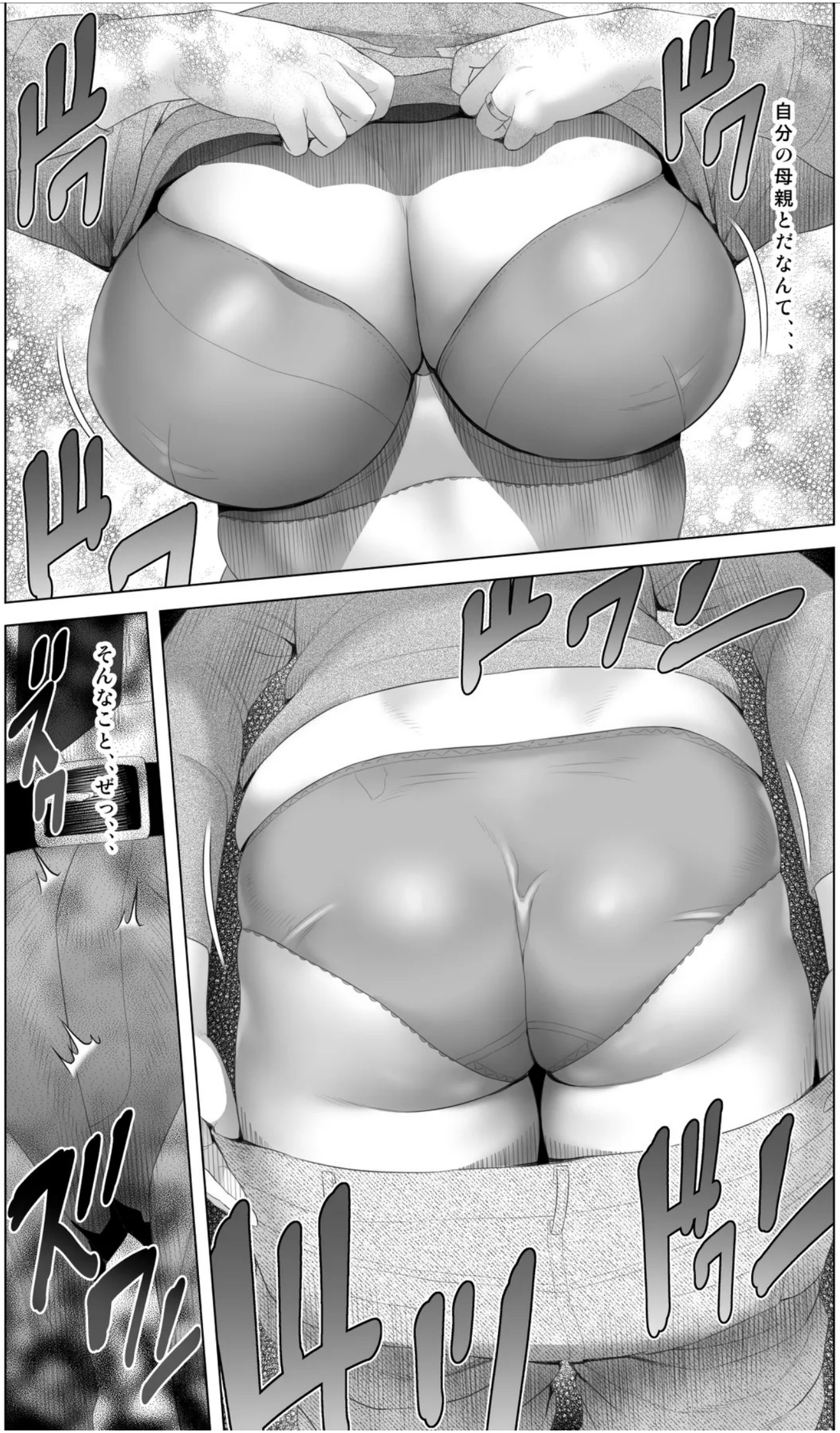
ただいま、、

あー、おかえり
早かったね

ちょっと
ごめんねー
すぐ済むから

これから夕食作るから
待ってて

ドイ


自分の母親とだなんて、、、
そんなこと、、、ぜっ、、、


なんか食べたいモノある？
とりあえずコロッケは
あるよ
ぜんっぜんアリだ！
なんで今まで
気付かなかったん
だろう！
うん、
それでいい、
いや、
ソレが良い！
ハァ…
こんな一番近くに
最高の相手がいる
なんて！
続く

奥付

「近女誘惑
僕が隣のお母さんとこんなことになっちゃう話 3」

発行日：　2022年1月14日

発行者：　灰司

E-mail：　hyjihyji@gmail.com

禁止事項

本のコンテンツ(テキスト＆画像 表紙のものも含む)の無断複写･無断複製･無断改変

本のコンテンツ(テキスト＆画像 表紙のものも含む)の写真･複写の
インターネット上へのアップロード(Twitter等を含む)

PROHIBITIONS

●Unauthorized copying,
reproduction and modification of the contents
(texts & images including those on the cover) of this book

●Uploading of the photographs and copies of the contents
(texts & images □ including those on the cover) of this book to the Internet
(You also cannot post them on Twitter　)

© hyji 2022